

令和8年度 当初予算概要

町民が幸福を実感できる 里都まちで「よく生きる」予算

令和8年度は、町の最上位計画である第七次中井町総合計画が新たに始まります。国内外のあらゆるものを取り巻く環境が複雑さを増し、将来の予測が困難な時代にあっても、町民の一人ひとりが「里都まち」中井町で「よく生きる（＝ウェルビーイング）」を実現した暮らしを送ることができるよう、町民が幸福を実感できる魅力あるまちづくりを目指します。

この目標のもと、将来世代への過度な負担を残さない持続可能な自治体運営を最優先としました。財源の計画的な活用による負担の平準化と、長期視点での需要見通しを重視し、社会保障、公共施設・インフラの維持、教育環境の改善などに取り組みます。あわせて、物価高騰・人件費上昇などの影響や社会・経済情勢の変化、住民ニーズに柔軟に対応し、多様な課題に向き合いながら、優先順位を見極めたメリハリのある予算編成を行いました。

里都 まち なかい 4月号
広報

目次

2-5	特集 令和8年度当初予算
6-17	里都まちニュース
18	里都まちリポート
19	文化財あれこれ
20-26	インフォメーション
27	新着図書 俳句
28	里都まちリポート②

よく暮らす 未来に引き継ぐ自然・環境、安心・安全

美しい自然と豊かな環境を次世代に引き継ぐことを大切にするとともに、気候変動や災害、事故から町民を守る安心・安全なまちづくりを行います。

里山の自然との共生による自然環境の確保

竹害対策事業

25万円

森林保全のため、竹材利活用や竹林整備の担い手育成に取り組めます。



街並みの整備で安全・快適な暮らし

防犯体制・交通安全の充実

605万円

防災強化を通じた安全・安心なまちづくり

防災対策事業

1,276万円

防災資機材などの整備や、危険ブロック塀等安全対策補助事業の実施とともに、地区防災計画の作成支援や各種防災訓練を実施するなど、自助、共助の取組みを推進します。

よく働く 活力ある地域経済・まちづくり

地域産業の活性化や新たな雇用創出を支援し、働く人が誇りを持てる環境を整え、住みやすく訪れたい魅力あるまちづくりを推進します。

インフラ基盤整備を通じた地域経済の充実

道路などの適切な整備

1億9,180万円

農業振興事業

1,014万円

農産物の安定供給のため、資機材の購入費などへの補助や新規就農する方への支援を行います。



豊かな生活環境の基盤となる公共交通の充実

公共交通の充実

3,664万円

特定の交通手段を持たない方の移動を支えるため、オンデマンドバスの運行を継続します。



地域産業の振興を通じた元気で活力あるまちづくり

ふるさと納税推進事業

7,087万円

観光振興事業

1,009万円

移住定住の促進による地域活力の維持・発展

移住定住の促進

1,263万円

空家等対策計画に基づき空き家などの適正管理を推進します。また、空き家購入者などへの補助や、移住・定住を促進するため、子育て世帯・若年夫婦世帯の住宅取得費の補助を行います。

よく学ぶ 自分らしくあるための学びと自己実現

一人ひとりが自分らしく学び、成長できる環境を整えます。また、生涯学習の機会を広げ、挑戦や自己実現を支える町を目指します。

未来を担う人材の育成に向けた教育の推進

ICT教育推進事業	8,302万円
学校給食事業・学校給食費無償化事業	4,280万円
子育て家庭の負担軽減のため、引き続き小中学生の給食費を全額無償とします。	
学校体育館空調機設置事業	3億8,888万円
授業および部活動などにおける児童・生徒の熱中症対策および避難所機能強化のため、小中学校体育館へ空調機を設置します。	



生活を豊かにする生涯学習の推進

地域クラブ活動振興事業	254万円
-------------	-------

地域の文化や歴史を通じたつながりの醸成

地域文化の保存と振興	472万円
------------	-------

五所八幡宮祭礼記録作成調査やデジタル郷土資料館の情報更新などにより、町の文化資源への関心を高めます。



よい心身 心と身体の健康を育み守り合う

誰もが健やかに暮らせる環境を整えます。また、地域のみならず町全体で支え合い、充実した福祉や子育て環境を整えます。

心身の健康づくりによる豊かな暮らし

高齢者福祉の充実	390万円
難聴改善のため補聴器購入費の助成を実施することで、高齢者の社会参加を促進します。	

地域で支える安心した子育て環境の整備

放課後児童健全育成事業	3,817万円
妊娠・出産包括支援事業	1,260万円
子育て支援センター運営事業	1,939万円

子育て家庭に対する総合的な育児支援をするとともに、ファミリー・サポート・センター事業との連携により、子育て支援の充実を図ります。



よい繋がり 緩やかな人の繋がり、地域の繋がり

地域で支え合いながら暮らせる環境を育み、多世代・多文化が交流し、誰もが安心して暮らせるコミュニティづくりを目指します。

地域福祉の充実による地域の支え合い

地域福祉の充実	600万円
災害時などの避難行動要支援者名簿・個別避難計画を管理するための地域福祉支援システムを導入します。	

多様性を尊重する共生社会の実現

多文化共生事業	10万円
外国につながる児童や生徒に対し、学習支援者などの配置の拡充により、必要なサポート体制の充実を図ります。また、町内在住の外国人との多文化共生を促進するため、交流会や通訳支援を実施します。	

よい行政 町民の「よく生きる」を支える町行政

町民と行政が協力し、より良いまちづくりを進め、行政改革を推進し、誰もが利用しやすく、町民に寄り添う行政を目指します。

行政DXの推進で使いやすい行政サービス

DXの推進	8,064万円
統合型・公開型GIS、収納のデジタル化などにより、町民サービスの向上と庁内業務の効率化を図ります。	

適切な行政資源・財産の運用管理

総合計画事業	192万円
第七次中井町総合計画で設定するウェルビーイング実感指標・施策指標に対する町民意見を把握・分析し、効果的な取り組みを継続的に改善していきます。	

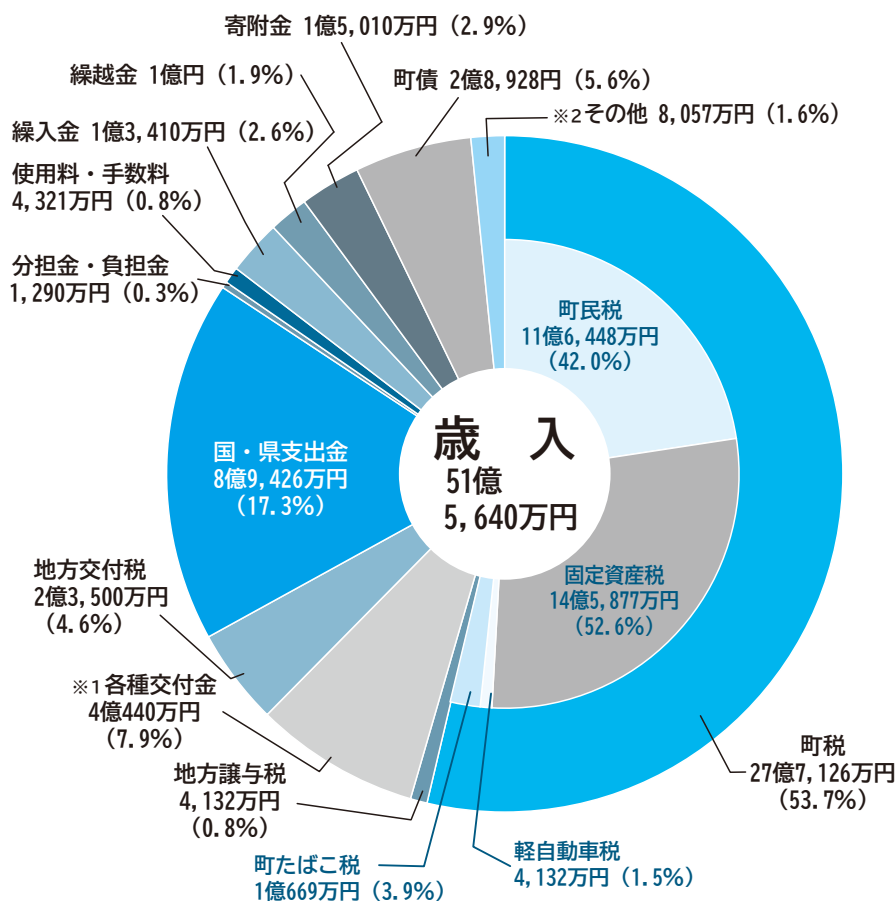
総額 (特別会計・企業会計含む)

対前年度比+2億9,841万円 (3.7%増)
対前年度比+1億9,190万円 (3.9%増)】

一般会計歳入

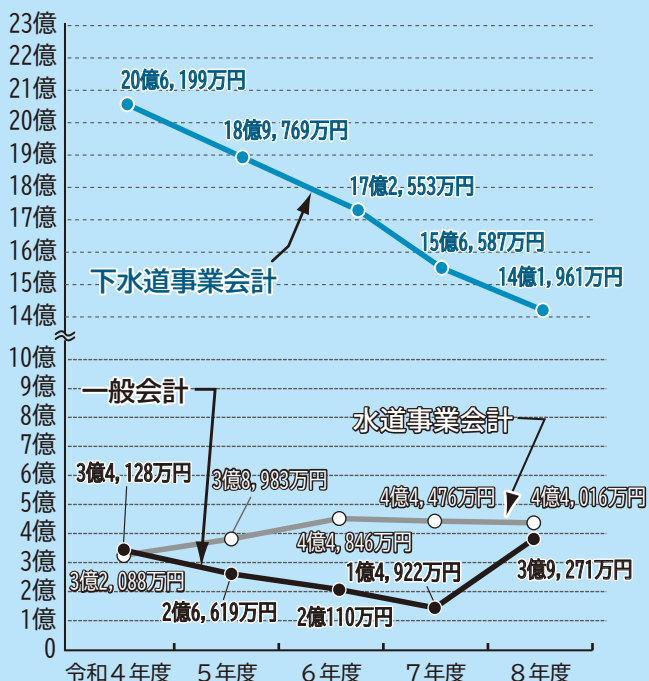
物価高騰などに伴う社会・経済情勢の変動はあるものの、町内企業の好調な業績の影響などを勘案し、町税は、前年度比4.3%増の27億7,126万円、地方譲与税、各種交付金および地方交付税は、近年の実績を踏まえて前年度比10.3%増の6億8,072万円を計上しました。また、国・県支出金では、学校施設の改修工事などに係る対象経費の増などにより、前年度比18.1%増の8億9,426万円を見込み、なお不足する財源は、財政調整基金の繰入れおよび町債（小中学校における教育債）により、収支の均衡を図りました。

※1 「各種交付金」は、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、環境性能割交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金の合計額です。
※2 「その他」は、財産収入、諸収入の合計額です。

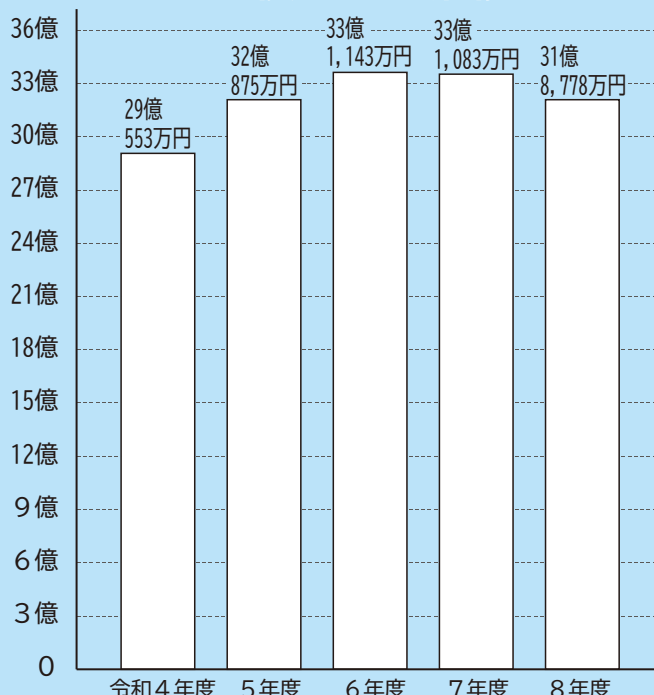


町の「借金」・「預金」はいくらあるのかな？

町債残高の推移



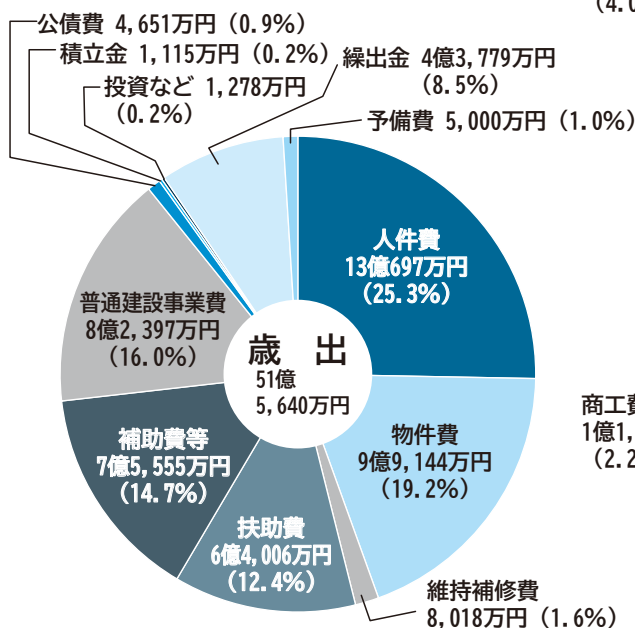
積立金の推移



一般会計歳出

歳出では、社会保障費の増大や公共施設・インフラの長寿命化への対策、農業をはじめとする地域産業を活用した事業、小中学校への空調機設置事業、放課後児童の健全育成、行政のDX化などを中心に取り組み、将来世代へ過度な負担を残さない持続可能なまちづくりを着実に進めるとともに、町民一人ひとりがウェルビーイングを実現できるまちづくりを推進するための予算配分を行いました。

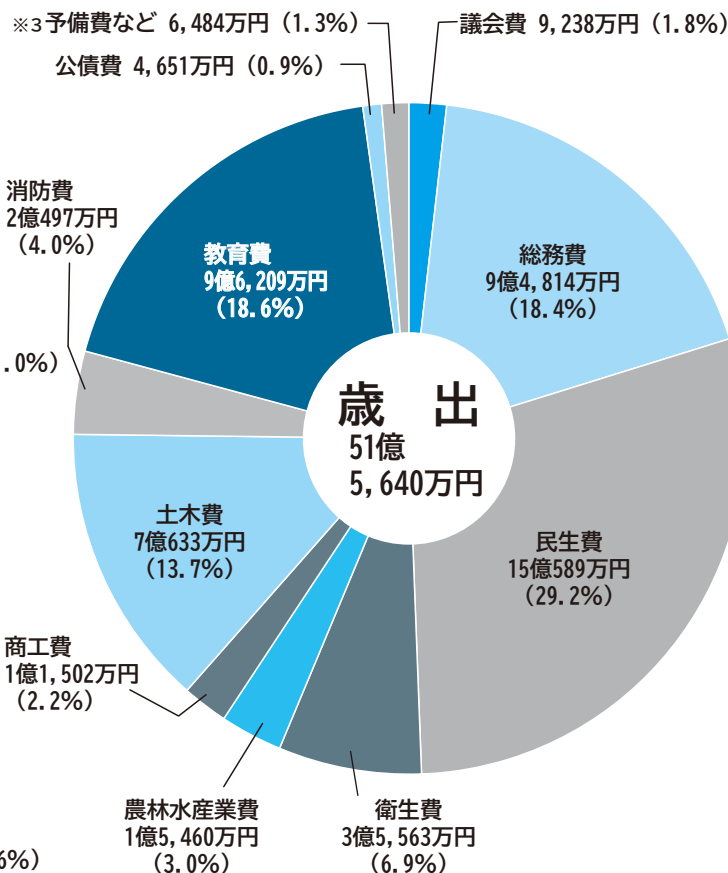
※3 「予備費など」は、災害復旧費、諸支出金、予備費の合計額です。



令和8年度 当初予算

83億2,045万円

【一般会計予算 51億5,640万円】



特別会計・公営企業会計

町には、一般会計のほかにも、特定の目的のために設けられた特別会計と下水道事業および水道事業のための公営企業会計があります。これらの会計は、特定の収入を特定の支出に充てるため、会計ごとの「独立採算」が基本となっています。

会計区分	予算額	前年度予算額	比較	伸率
国民健康保険特別会計	10億4,428万円	10億4,242万円	186万円	0.2%
介護保険特別会計	10億4,676万円	10億1,271万円	3,405万円	3.4%
後期高齢者医療事業特別会計	2億5,761万円	2億1,830万円	3,931万円	18.0%
下水道事業会計	4億3,904万円	4億751万円	3,153万円	7.7%
水道事業会計	3億7,636万円	3億7,660万円	△24万円	△0.1%

※下水道事業会計および水道事業会計の予算額は、総支出額から減価償却費などを除いた額です。

■国民健康保険特別会計

自営業の方や退職者などの医療費などを給付する会計です。被保険者の減少や高齢化などにより年々減少傾向にありますが、令和8年度からの子ども・子育て支援金制度開始に伴い、予算額は0.2%の増となりました。

■介護保険特別会計

要介護認定された方の介護サービス費を給付する会計です。高齢化などに伴い保険給付費は年々増加傾向にあり、予算額は3.4%の増となりました。

■後期高齢者医療事業特別会計

75歳以上の方の医療費などを給付する会計です。県内全市町村が加入する「神奈川県後期高齢者医療広域連合」により運営されています。高齢化などにより予算額は18.0%の増となりました。

■下水道事業会計

下水道を整備・維持管理するための会計です。管路建設改良費や人件費などの増加により、予算額は7.7%の増となりました。

■水道事業会計

水道を供給するための会計です。